

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 3 霜害が発生！残った花に確実に成らせよう！

**4月10日・11日の低温・降霜で甚大な被害が発生！
結実確保対策を徹底してください！！**

1. 被害の発生状況

- ・4月10日と11日に低温・降霜があり、県内全域で被害が発生
- ・雌しべの枯死率は、「佐藤錦」5～80%程度、「紅秀峰」0～95%程度

◇雌しべ枯死率別園地数(県内全域)

	佐藤錦:19園地調査	紅秀峰:17園地調査
枯死率 0～20%	2園地	2園地
枯死率 21～50%	11園地	3園地
枯死率 51～70%	4園地	2園地
枯死率 71%以上	2園地	10園地

自分の園地の被害を確認してください！



正常な雌しべ

枯死した雌しべ

数日後

霜害を受けた雄しべ・葯

霜害を受けた花(チリチリ)

2. 結実確保対策

例年以上の対策を実施してください！

(1)防風対策

風当たりの強いところでは、
防風ネットを風上側に設置

バケツに水差して
「佐藤錦」の近くに設置

(2)切り枝の利用

- ・受粉樹の雄しべが霜害を受けている可能性がある
設置前に雄しべ(葯)の状況を確認
- ・開花直前の太めの枝を切除
- ・受粉樹が少ない場所やハチの巣箱から
遠い場所に設置



(3)人工受粉

- ア 時期 5分咲きと満開期は必ず実施
被害が大きい場合はなるべく回数を多く実施



5分咲き



満開

イ 方法

- ◆花が乾いている時なら、いつでもOK！
- ◆毛ばたき受粉
 - ・受粉樹の主枝1本をなで、花粉を付ける
 - ・交配樹の主枝2～3本をなで、花粉を付ける
 - ・毛バタキが硬い場合・汚れた場合は、ぬるま湯で洗って陰干しして使用
- ◆花粉を採取しての受粉（毛バタキ受粉機）
 - ・受粉樹から風船状～開花直後の花を摘み、開葯・希釈して使用（開葯翌日から使用可）
 - ・「ぼんてん」を用いる場合は、正常な花をねらって受粉する



回転させながら花粉を付ける

採取花粉を

石松子で希釈する目安

- ・葯殻つき花粉：3～5倍
- ・精製花粉：6～10倍

ウ 重点的に実施する樹

- ◆凍霜害が大きい樹を重点的に実施
- ・その他、摘芽済みの樹、周りに受粉樹が少ない樹・例年着果が不安定な樹

(4)かん水

- ・開花期まではたっぷりかん水（開花期間中に乾燥した場合もかん水）
- ・かん水の目安は20t（20mm）/10a程度
（灌水施設がない場合は、樹冠下だけでも灌水）

3. 引き続き防霜対策

- ◆生育は平年より7日前後早く、最も危険な時期になっている！
 - ・開花直前（佐藤錦の雌しべ長5～7mm頃）が最も霜に弱い
 - ・4/9時点の雌しべ長（園芸研）は佐藤錦：4.3mm、紅秀峰：6.6mm
- ◆気象情報に注意して、引き続き防霜対策を徹底！
 - ※ 防霜対策は前号を参照

4. 灰星病防除

開花直前、満開3日後の防除を遅れず実施